

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



職員の異動がありました！

退職	所長	馴松延広
	技師	杉本かほり
転出 (今年度の所属)	参事	村上美雪 (城南家保)
	主任技師	成富英規 (食肉衛生検査所)

転入 (昨年度の所属)	所長	山下秀憲 (城南家保)
	参事	森将臣 (中央家保)
	主任技師	小田原直子 (中央家保 BSE検査所)
新規採用	技師	橋口未迪

牛白血病の発生・拡大防止のために気を付けることは

➤ 牛白血病（地方病性牛白血病）とは

牛白血病ウイルスの感染により起こります。感染しても**多くは無症状**ですが、数ヶ月～数年後に発症する場合があります。**発症するのは、感染牛の数%(2～5%)**、好発年齢は3歳以上(4～8歳)とされていますが、近年3歳未満での発症も少なくありません。

有効なワクチンや、発症牛に対する治療法はありません。牛の届出伝染病であり、全国での発症牛の届出数は平成10年の99頭から増加し、平成28年には3,000頭に達しようとしています。また、平成21～23年の全国調査から平均感染率は乳用牛で約40%、肉用牛で約28%であることが明らかになりました。

なお、**人に感染することはありません。**と畜場で発見された場合は全廃棄となるため、発症牛の枝肉が市場に出回ることもありません。

➤ 症状

発症すると、削瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出、体表リンパ節の腫脹(図1)等がみられ、腹腔内や心臓、胃、子宮等にも腫瘍が形成されます。

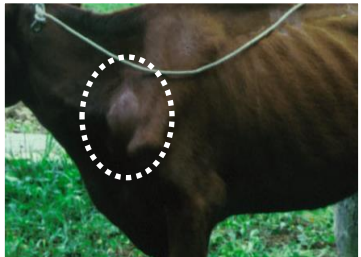


図1 体表リンパ節の腫脹

➤ 主な感染経路

○**血液による感染**(感染原因の90%を占める)

感染牛の血液との接触で最も高確率に感染します。アブやサシバエ等の吸血、注射針や直腸検査用手袋の使い回し、耳標・鼻環の装着、除角、去勢、削蹄等の出血を伴う作業に使用する器具の不十分な洗浄や消毒などの人為的な要因または、鼻汁や傷口を介した接触によっても感染します。

○**親子間の感染**(感染原因の10%を占める)

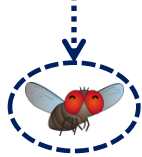
母牛が感染牛の場合、子宮内や産道で子牛が感染する場合があります(4%程度)。また、出生後は感染牛の初乳摂取により感染する可能性があります。

➤ 感染を抑えるためには

以下の事項に注意して飼養管理を行いましょう！

吸血昆虫

- 牛舎にネット（網目は2mm以下）を設置
- 忌避剤の使用
- アプトラップの活用



除角・削蹄 耳標・鼻環取付

- 確実な止血
- 使用した器具の洗浄と消毒
- 感染牛の実施は最後に

直腸検査

- 直腸検査は1頭ごとに手袋を交換
- エコープローブもカバーで覆い交換
- 感染牛の実施は最後に

分娩

- 分娩房を設置し他の牛と隔離
- 分娩後は房の洗浄・消毒
- 感染していない牛から後継牛を生産

牛の配置

- 感染牛群と非感染牛群を離して（4m以上）飼育
- （牛群の間に空房やネットを設置）

作業順序・注射

- 搾乳などは感染牛は最後に
- 注射は1頭1針

初乳・早期母子分離

- 感染していない牛の初乳か初乳製材を給与
- 感染牛の初乳は60℃30分間の加温か、凍結処理を行う
- 感染母牛との早期の母子分離を行い、子牛への感染を予防

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	2月8日	牛	A型
		2月5、6、9～13日	牛	O型
	中国	1月25日、2月7日	牛/羊	O型
		モンゴル	1月24～29日	牛/山羊/羊
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	3月3日	あひる	H5N6
		3月19日	採卵鶏	H7N9
	台湾	2月15日～3月16日	地鶏、あひる、がちょう	H5N2
		2月14日～18日、2月26日	地鶏、あひる	H5N6
		2月22日、2月25日～3月6日	地鶏、あひる、鶏	H5N8
ロシア	3月4日～10日	家禽	H5N8	

平成29年4月3日時点

毎月20日はくまもと家畜防疫の日



韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

